

北六甲台&上山口東の住宅街

福祉だより

ぬくもり

第109号  
2020年2月17日

西宮市北六甲台地区  
社会福祉協議会  
会長 日高 昭夫

●発行/北六甲台地区社協 ●発行日/偶数月 ●編集/北六甲台地区広報部 ●配布エリア/北六甲台・上山口東

ここに丸山カフェオープン一周年

十二月十九日(金)コープ西宮北店三階集会所で、オープン一周年記念クリスマスコンサートが開かれました。

参加者は一般二七名、ボランティア十二名、専門職十名と大盛況でした。今回も特別養護老人ホームのセントポリア愛の郷から音楽療法士の中原さんと大坪さんをお招きして、参加者のハンドベルとギター演奏で始まり...



関係者の清家さんから、参加者へ手作りお年玉プレゼントやカフェスタッフの久慈さん提供のランブ抽選会がありました。

また、参加者全員へスタッフからの手作り花ブゼント等盛沢山の内容で、坂本九さんの上を向いて歩こうの歌で最後を飾りました。



(広報部 小出晴浩)

住民発行の「戦争体験記」

「戦争の記憶を後世に伝えたい」と北六甲台パソクラブ代表の蘆田敏郎さんを中心に戦争体験記発行が取組まれました。昨年七月に急逝された蘆田さんの遺志を継いで会員たちの手で十二月に「平和への願い伝えたい(戦争体験記)」が発行されました。



二年前の北六甲台文化祭で大正生まれの蘆田さんなどクラブ会員三名による戦争体験が語られました。これを皮切りに自治会や福寿会の協力も得て、原稿の執筆依頼や会員による聞き取りが進め

られ、ようやく六六頁の冊子発行が実現しました。発行に向けて蘆田さんの二代後の地区社協代表としてささやかなお手伝いをしました。

「体験記」には北六甲台住民を中心に十四編の生々しい体験が綴られています。敗戦後七四年を経て戦争体験者は年を追うごとに少なくなり、戦争の悲惨さの風化が進んでいます。そんな背景のもとでの体験者の生の声の住民自身による貴重な体験記発行です。

「体験談を記録に残していくことで、戦争の事実を次の世代に伝え、人間が人間でなくなる戦争について語り続けてほしいのです」。蘆田さんの巻頭言です。(会長 日高)

コミュニティ再生の拠点 年頭所感 会長 日高昭夫

共生型地域交流拠点 西宮市は、二〇一八年度より『共生型地域交流拠点』の開設・運営に関する補助金制度を開始しました。この交流拠点は、誰もが参加できる常設(週五日以上、一日六時間以上開設)の交流の場です。補助金上限は開設時二百万円、年間運営費五百万円です。住民が主体となって運営し、高齢

では市社協を通じて各小学校区での開設を支援しており、現在三地区で開設運営されています。

なぜ交流拠点か?

多額の補助金を準備した共生型地域交流拠点づくりの趣旨は何でしょうか? 超高齢社会、少子化、共働き世帯化の進行が地域コミュニティの脆弱化を招いています。北六甲台地区でも自治会員の退会、子ども会解散、関係団体の会員減少や役員欠員等、つながりの希薄化、支え合い基盤の弱体化が進んでいます。

独居高齢者、要介護者、認知症当事者、障害者、介護者、子育て世帯、放課後の子どもの居場所等、生き辛さを抱えた多様な層の孤立化が心配です。こうした多様な層がいっしょでも交流できる「居場

所づくり」こそが常設共生型地域交流拠点です。地域コミュニティ再生の拠点です。

北六甲台地区の取組み

北六甲台地区社協は、福祉ネットとも連携しながら、地域の幅広い団体、組織、活動者等の意見やご理解を得ながら、北六甲台地区でも地域交流拠点づくりを進めたいと考えています。そのため昨年十二月に地域交流拠点についての福祉フォーラ



ふくし映画「ピア」上映

開催日: 3月8日(日) 時間: 午前14時00分~15時40分 会場: 北六甲台コミュニティセンターA室 内容: 介護福祉士の活動映画

お知らせ

福祉講座

開催日: 3月15日(日) 時間: 午後1時30分~3時30分 会場: 北六甲台コミュニティセンターA室 内容: ミュージックセラピー体験

今後の課題と進め方

フォーラムでは、多くのご意見、ご要望を頂きました。意見交換を通じて、参加者の地域交流拠点づくりについての前向きな想いが伝わりました。併せて「理念や目標の共有」「取組みの進め方」「拠点立地の場所」「人材確保の在り方」「運営主体の在り方」等の今後の課題も明らかになりました。

その意味で地域交流拠点づくりに向けた素晴らしいキックオフができたと思います。キックオフされたボールをキチンと受け止め、次の展開に繋がっていきたいと思います。

# 令和初のふれあい交流会

高齢者福祉部

築紫豊

今年も一月十七日サンパレス六甲で、七五歳以上の方をお迎えして、ふれあい交流会が行われました。ふれあい交流会は、地域の皆さんがタイトルの様にふれあい交流を行って頂くのが目的で、北六甲台地区社協として長年行っている大事な行事です。



これは、参加される皆さんの参加費と「歳末助け合い募金分配金事業」の、交付金と地区社協の資金等を充当し、「株式

会社レック」様の多大な協力も得て行っています。事務局の本郷さんを中心にご案内のチラシ作成から始まり、お申込み頂いた方の名簿の作成、手配したバスで行かれる方や、直接、送迎を希望される方などの名簿作成やバスの乗り場の案内、昨年参加して頂いたが今年お申込みの無い方へ、再度訪問してご案内するなどスタッフの皆さんの協力を得て、昨年より十名多くの方にお申込みして頂きました。

小出副会長の、「今日は阪神淡路大震災の二五年目ですので、黙祷をお願いいたします」との言葉で、全員起立し一分間の黙祷を行いました。冒頭司会者により、この場が皆さんのコミュニケーションづくりの場であり、お話しがはずむ会になりますようにとの言葉の後、日高会長の挨拶で始まりま

した。



認知症の方との関わり体験事例を紹介しながら「社協や福祉ネットを通じてサポートして行きたい。認知症当事者やその家族の方が安心して過せることが大事で、その為には正しい理解があつてこそ、皆さんが共存していける街づくりにつながる」とのお話がありました。

その後皆さんお待ちかねの落語になりました。



最初は、さら亭文月さんの「子ほめ」で、本題に入る前に最近練習している横笛で、「赤とんぼ」や「たき火」の童話を演奏され、会場の皆さん懐かしく歌っておられました。落語はお酒の好きな人がご馳走になるために、相手の年を若く言ったり、褒めたりするので、上手くいかず、生まれたばかりの赤ん坊の年を多めに言ってお話して、会場の皆さん聞き入っていました。



二席目は、梅丹亭（メイトンテイ）こなんさんの「茗荷宿」で、寂れた宿屋を営む夫婦のもとに久々の客があり、預かった大金が目くらんだ夫

婦は、茗荷を食べさせて物忘れをさせようとさんざん茗荷料理を食べさせます。結果は、預けた大金は忘れずに持って行くが、宿代の支払いは忘れて行ったというオチに皆さん大笑い。

最後に、自治会から派遣の森副会長から、「来年も皆さんお元気でこの会場でお会いしましょう」との言葉で、閉会となりました。

多数のご参加有難うございました。



## 各事業部のクリスマス会紹介

### 地域交流部・ふれあい喫茶

#### 北六甲台

十二月十一日（木）に年末恒例のRグレイス（八名）によるコーラスが行われました。

このグループは、北六甲台の方が中心で、結成して二十周年になるということです。この時期に欠かせないシングルベルを皮切りにクリスマスメドレー三曲を歌ってもらいました。

途中、CDにゴミ付着により曲が飛びこれも愛嬌。歌い直しの再開で和やかな雰囲気が進みまし



た。歌の中には、皆さんお馴染みのNHK朝ドラでサザンオールスターズが歌っていた「若い広場」や中島みゆきの「麦の唄」もあり、うっとり聞いてました。

最後のアンコール曲では「ハレルヤ」の歌とダンスで締め括られました。



#### 上山口東

上山口東の自治会館でも、十二月十八日（木）に特別養護老人ホームのセントボーリア愛の郷から音楽療法士の中原さんと大坪さんをお招きして、クリスマスコンサートが開催されました。

雪、冬景色、きよしこのよるの童話・歌唱メドレー等の後、二つの曲を同時に歌うパートナート

### 広報部 小出晴浩

ングを「雪」と「春が来た」に別れて行い、見事なハイモニーでした。

その他、狩人のあずさ二号などをメドレーで六曲がギター演奏と歌で締め括られました。渡辺さんをはじめ協力員の方のお世話で、令和元年の年末に相応しいふれあい喫茶となりました。

今後、誰もが参加できる居場所として継続していくことを願っています。皆さん、お疲れ様でした。



### 子育て支援部

#### とちだちつくろい

十二月二十日（金）に北六甲台コミュニティセンターでクリスマス会が行われ、永田さん扮するサンタさんから可愛い子どもたちへプレゼントが配られました。

今日の参加者は、子ども十一名大人八名で、サンタさんとじゃれあつたり元気に飛び回り、お母さんとも一緒に楽しいひと時を過ごしました。新年も、沢山の子どもたちが遊びにきて貰えるよう、スタッフ一同、お待ちしています。



### 障がい者支援部

#### 青い空

各部を締め括る形で青い空のクリスマス会が十二月二十三日（月）に安心プラザで行われました。昼食のちらし寿司やトシ汁を、早朝から準備された七名のスタッフの皆さんご苦労様です。参加者は、介助者や五名の男性を含め十二名で、にぎやかな昼食となりました。

午後、大正琴同好会・ささゆりの会の、シングルベル演奏の途中で、宗村さんサンタにより参加された障がい者の方へプレゼントが渡され、楽しいひと時を過ごしました。

